

かがやく女性

……仕事と家庭の見事なマネジメント……

ワーク・ライフ・バランスで光る

みんなの個性 みんなの笑顔

講師 佐々木常夫氏
(株東レ経営研究所 代表取締役社長)

◆私にとつての会社・仕事・家族

自閉症の長男を含めた子ども3人と病気で入退院を繰り返すパートナーを抱え、子育てや家事と仕事を両立するために、すべて計画的戦略的に取り組みました。家庭の状況を会社に報告し、仕事は18時まで。それをやりきるためには、仕事で結果を出し、チーム内のコミュニケーションと信頼関係を築くことです。



多くの人が悩みやハンディを抱えています。障害や病気は恥ずかしいことではありません。誰もが等しく持っているリスクなのです。

◆個人も会社も成長する

ワーク・ライフ・バランス

社員の満足度を高めることが生産性の向上につながり、企業の競争力になります。多様性の衝突・対立がイノベーション(革新)を生みます。個人としての自分のブランドを確立しましょう。

男女共同参画月間記念行事

ふくいきらめき フェスティバル 2009

開催日: 6月13日(土)・14日(日)

会場: 福井県生活学習館(ユウ・アイ ふくい)

テーマ: キラリと光る みんなの個性 みんなの笑顔

基調講演をはじめ、ワークショップや体験講座、展示、子育て応援企画などに多くの人々が集いました。

テーマに沿って、活動の発表や、多くの意見が交わされた各会場!!



DV



ワーク・ライフ・バランス



和紙ちぎり絵



ここまで進めてきた共同参画



まちづくり



笑顔いっぱい

紙でカゴを編もう



色鉛筆画

気づきや成果を持ち帰り、次の活動へGO!!

最後にご自身の思いを歌詞に託して歌われ、温かな雰囲気にもまれた会場となりました。

「たくさんある良さを認めて自分を好きでいてほしい」と子どもに伝えるため、パーソナルポートフォリオを実践している岩堀先生。



笑顔が増える心の育て方

講師 岩堀 美雪 教諭

……目頭熱く、聞き入る参加者……

パーソナルポートフォリオとは、自分の中のプラスを探し、それに関する様々なもの(自分の好きなものや、がんばったことなど)をファイルしていきます。入りきらないものは写真に撮ってファイリング。時にはクラス全員で「自分のいいところ」について自分で書いたり、友達同士で書きあったり、家族に書いてもらったりしながらファイルは埋まっていきます。4月には自分の良いところを一つしか書けなかった子が2月には23個も書けた(見つけられた)こと、友達から足が速いと褒められさらに努力をするようになった子、「自分のことが好きになつてきた」と書いた子などの実例が示す通り、その子なりの良い変化が起こっており、ご家族からも応援をいただいています。今後、後にも多くの方々にこの活動を知っていただきたい。

ふくいきらめきフェスティバル2009

子育て応援企画

■目指せ、ハッピーマミー 〜イライラに振り回されないワタシになる

●講師：HappyMommyプロデューサー＆コーチ 山崎洋実氏

コーチングの手法を基礎として、3人組でのワークが入った講座は大好評でした。若いママ達はイライラを吹き飛ばし楽しく子育てするヒントをたくさん掴んでくれたでしょう。子育て一段落世代にも、楽しいコミュニケーションの参考になりました。



目からウロコの講座！
本当に素敵な講座で、まさに今、
ハッピーマミーな気持ちなんです。



運営協力員さんご協力
ありがとうございました。
(会場内託児コーナー)

女性の感性に注目！(展示コーナー)

●子どもの成長に寄り添って●

妊娠・出産の写真と、色鉛筆画

温かい気持ちになりました。命の輝きを感じました。若い人たちにも見てほしい。

●水彩イラスト展●

県内在住の岸本ますみさんの作品

女性の似顔絵の数々、鋭い観察力が魅力ですね。

■子育てマイスターさんに会いに行こう(無料相談会)

日頃の疑問や悩みに、保育士さんと栄養士さんが優しく対応してくれました。

■ごはんパワーでへんしん！

手作りの食育紙芝居と、おにぎり&きび団子作りで楽しく食育！

■親子ワクワク体操

■ふるまい餅つきパフォーマンス



地産地消をPRする“みはま餅っこ隊”

健康講座

「若さ度チェック！」

落語 天神亭楽々さん

楽々さんの「楽しく笑って」

天神亭楽々さんは、末期がんの苦しさを感ぜさせない身振り手振りで、泥棒のドタバタ落語を軽妙に語り、会場は笑い元気一杯でした。発病後に会った落語により「自分も笑って過ごしたいし、その事で人も楽しくなってもらえれば」との一生懸命な姿勢と深い思いに感動しました。



講演 広瀬真紀氏(福井県医師会理事)

実年齢と身体の年齢

差はある？

健康と若さを保ちながら年を重ねていきましようというアンチ・エイジング(抗加齢)医学の考え方を講義しながら、県と医師会が開発した「ふくい若さ度チェック」のシステムも紹介いただきました。

「健康長寿」に

向け「血管の寿

命こそ、人の寿

命」という講師

の言葉は印象的でした。



etc. etc.

他にもこんな企画！

★超満員のカラー講座

★リラックスシヨンの実技が好評だった「災害時、心のケア」

★ワークシヨップ(中学生と進める共同企画、認知症、子育て支援)

★体験講座(ウオーキング)

★わが町自慢コーナー、ふれ愛バザー

★伝統の「天龍太鼓」

★団体活動展、共同企画展、文化講座作品展



ふくい女性のつどい

実行委員会

ふくい女性財団理事長が実行委員長となり、加盟49団体と、公募の企画委員14名とが実行委員会を組織して開催しています。

参加者の笑顔に励まされ、来年も「ふくいきらめきフェスティバル」は開催予定！企画・広報・運営・参加と、皆さんお一人おひとりの知恵と力を結集して、より良い大会を作りましょう。

平成21年度役員紹介(定期改選)

理事長 水上 幸衛

副理事長 森瀬 則昭

今年11月、ふくい女性財団は設立から15年目を迎えます。各団体が手を携え、多くの皆様からのご理解とご協力、温かいご支援に支えられながら、男女共同参画社会の実現に向け歩んできた財団の節目の年に、理事長として再任いただきました。

国が、より実践的な「第2ステージ」へと取り組みを進める中、信頼と親しみのある財団としてこれからも発展して行けるよう、身を引き締めて臨みたいと意を強くいたしております。貴重なお意見・ご要望をお聞かせください。ますますお願い申し上げます。

昨年ふくい女性財団の理事に就任し、今年は副理事長就任と、まさにサプライズ人事です。今は驚きと戸惑い、そしてその責任の重大さに身の引き締まる思いで一杯です。今日の財団の礎を築かれた先達のご労苦に感謝しながら、真の男女共同参画の実現に向けて、浅学菲才の若輩者ではございますが、水上理事長、重久副理事長とともに、男性の視点で精一杯務めさせて頂く覚悟でございます。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(重久博子氏は、副理事長に再任されました。)

財団法人ふくい女性財団 役員紹介 (* 兼掛けは新役員)				
理 事 長	水上 幸衛	福井県漁協女性部連合協議会長		
	重久 博子	福井県食生活改善推進員連絡協議会長		
副理事長	森瀬 則昭	さかい男女共同参画ネットワーク会長		
	中西 雅夫	ふくい女性財団事務局長		
専務理事	瀬脇 一	福井県総務部長		
	今富 廣子	福井県生活学習館長		
	堂東 昭子	福井県生活学校連絡協議会長		
	戸田三枝子	福井県保育士会副会長		
	山崎 栄一	福井男女共同参画ネットワーク代表		
	天野寿美恵	つるが男女共同参画ネットワーク会長		
	稲葉理英子	小浜男女共同参画ネットワーク会長		
	吉田多輝子	大野男女共同参画ネットワーク会長		
	宮田 和夫	越前市男女共同参画ネットワーク会長		
	木村 道子	越前町男女共同参画ネットワーク会長		
監 事	三輪 隆三	福泉信用組合専務理事		
	田邊とよ子	前 ふくい女性財団副理事長		
評 議 員 (五十音順)				
	天谷 祥子	福井商工会議所女性会長 (天谷学園理事長)		
	荒井 紀子	福井大学教育地域科学部教授		
	梅田 幸重	(財)福井県文化振興事業団専務理事		
	加藤 澄子	学識経験者		
	北島 三男	福井新聞社 論説委員長		
	大正 光子	(学)大正学園理事長		
	宮越 洋二	産婦人科宮越女性クリニック院長		
	和田 秀美	福井労働局雇用均等室長		
	常任企画運営委員			
	委 員 長	大木下美智子	あわら市男女共同参画ネットワーク会長	
副委員長	樫尾智恵子	福井県民生活協同組合		
委 員	下野谷定枝、 佐々木福子、 山口のぶ子、	細川 豊子、米村美智子、巳寅 令子、 多田千代美、山本 芳恵、間井 憲子、 徳庄よし子		

おめでとうございます

男女共同参画社会づくり功労者

内閣総理大臣表彰

水上幸衛氏(ふくい女性財団理事長)女性の健康問題に取り組みなど、理事長としてふくい女性財団の新たな活動を展開しました。また、県漁協女性部連合協議会会長として女性漁業士の育成に取り組むなど、県内水産分野における男女共同参画の推進に大きく貢献したことなどが認められての受賞です。

知事表彰

個人 安藤スミ子(越前市)
池本 敏子(美浜町)
向富みつ子(越前町)
田中千恵子(鯖江市)
松田千鶴子(福井市)
(五十音順・敬称略)

団体 高浜女性ネットワーク

公益法人制度改革について

公益法人制度改革に伴い、現行の公益法人は「公益」または「一般」の財団法人へ移行することとなりました。

申請手続きは平成25年11月までとなっており、理事会等で検討を始めています。より公益性が求められる新制度に向けた見直しを図り、手続きを進めていきますので、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

平成21年度 ふくい女性財団年間事業

各種講座・研修

- ネットワークリーダー研修会
県内7地区で順次開催(8月)
- 男女共同参画セミナー
- ふくい女性塾(テーマ 科学技術)
9月26日開講
- 健康講座
(きらめきフェスティバルで実施済み)

その他

- 情報収集提供(機関紙、ホームページ)事業
- 女性団体活動支援事業
- ・ 全国大会参加旅費または講座等開催経費の一部補助
- ・ 情報交換会(市町ネットワーク)
- ・ 新年のつどい
- 育児と仕事の両立支援事業
- ・ ファミリーサービスクラブ事業
- ・ 病児・緊急預かり対応基盤整備事業(厚生労働省受託)
- ・ ふくい仕事と子育て応援ネットワーク事業(独福祉医療機構受託)
- チャイルドルーム運営事業
- 男女共同参画ポータルサイト運用事業
- 配偶者暴力(DV)被害者自立支援事業(*)
- 文化講座事業
- 女性のつどい事業(ふくいきらめきフェスティバル)

* 国際ゾンタ福井ゾンタクラブから、再度浄財をお寄せいただき、21年度も事業を継続できますことお礼申し上げます。

★ ★ ★ いま輝いています (加盟団体活動紹介)

支部長 下野谷定枝

ガールスカウト運動は、世界145カ国で活動し、日本連盟では「少女と若い女性が、自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として、自ら考え行動できる人となるようにする」という大きな目標を持っています。指導者の情熱ある献身的な奉仕と、行政や他団体からの支援を受け、自然体験、奉仕、募金、国際交流活動等に取り組んでいます。

今年5月、高校生スカウトが中心となり、アルミ缶回収で車椅子3台を施設に贈呈することができました。6月には、天皇皇后両陛下をお迎えした全国植樹祭に約150名が参加。日頃の私たちの活動を活かして、県内外の参加者に心温まるおもてなしができ、喜びと感謝の気持ちで一杯です。中でも、式典で三旗掲揚の大役を立派に果たした少女たちの笑顔がとても印象的でした。

来年は、日本にガールスカウトが誕生して90周年、福井県支部発足50周年の記念すべき節目の年となります。世界の平和と安全を願い、少女たちが心豊かにたくましく成長する姿に喜びを感じながら地域の方々と連携し、活動して参りたいと思います。



全国植樹祭 (小雨の中笑顔で案内)

国際交流はぎの会

会長 天野寿美恵

本会は91年設立、会員59名。84年から03年まで実施された婦人の船・婦人の翼・女性の翼に参加した女性会員で形成しています。

●目的

- ① 海外研修で得た知識や体験、感動を積極的に地域活動に反映し、地域の国際化を進める。
- ② 女性の資質向上、会員相互の親睦を深める。
- ③ 活力ある心豊かな「ふるさとづくり」を目指す。



そば打ち大会・試食会で交流

- 事業
- ① 海外研修の企画・実施
設立5周年、10周年、15周年の節目にそれぞれ、アメリカカタコマ市、韓国東海市、タイを訪問。
- ② 敦賀在住の外国人たちと交流

●「国際交流敦賀ネットワーク」設立

(2009年4月)

敦賀市の多文化共生を促進するため、目的を一つにする団体が集合。外国人も暮らしやすい、魅力あふれる交流都市敦賀となるよう、当会が主軸となり活動を始めました。外国人と共に、今年12月13日(日)敦賀萬象での大きなイベントを企画中です!

小浜男女共同参画ネットワーク

会長 稲葉理英子

男女共同参画社会基本法が制定されて10年、平成21年度定例総会の場において「小浜女性ネットワーク」から「小浜男女共同参画ネットワーク」に名称を変更致しました。

現在のところ、16団体が事業に取り組んでいます。男性団体、企業の加入に伴い、男女が対等なパートナーとして参画し、知恵を出し合い認め合って着実に実を結ぶよう願っています。ネットワークとして男女共同参画推進員を設置し、市内で育児休暇を取得された男性や、企業における育児支援など事例検討会、講演会、研修会など一歩の前進に努めております。

この他、福祉事業では例年、身体障害者ふれあいスポーツや健康ウォークに参加協力し、互いにより人間関係が生まれ絆も太くなっています。



競技出場やボランティアで協力

現在、男女共同参画意識の高揚を目的に「つどい」(12月開催)の準備中。また、市が行う第3回男女共同参画市民意識アンケート調査に参画し、その結果に期待を寄せつつ、今後の活動の土台にしたいと考えております。

編集後記

恒例のふくいきらめきフェスティバル2009が、大勢の方々のご協力で成功裡に開催され、本紙にその内容をまとめました。政治の動きはさておき、私たちは男女共同参画社会の形成に努力を続けましょう。

発行者

(財)ふくい女性財団

〒918-8135 福井市下六条町14-1
福井県生活学習館(ユー・アイ ふくい)2階
TEL:0776-41-4254 FAX:0776-41-4260
E-mail:fujho-zai@cnr.ne.jp URL:http://www.f-jhosei.or.jp

厚生労働省から受託

病児・緊急預かり対応基盤整備事業

働く保護者の緊急時の子育て支援策「緊急サポートネットワーク事業」は、地域に沿ったより良い支援体制の検討も行うこととなり、名称を新たにスタートしました。緊急時の一時預かりなどの支援はこれまでと変わらず実施します。

… 会員随時受付中 …

- 研修会(10月スタート)に参加して、子育て支援の仲間になりませんか。
 - 働く保護者の方、制度をうまく活用しましょう。
- お問合わせ: ふくい女性財団 (0776)41-4234 (専用ダイヤル)